

# 対ジブチ共和国 国別援助方針

2014年4月

## 1 援助の意義

ジブチは、アジア、アフリカ及び欧州をつなぐ海上交通路の要衝に位置し、不安定な「アフリカの角」地域において、2001年の和平達成以降、国内情勢は安定しており、外交的にも我が国を含め諸外国と良好な関係を築いている。また、ジブチ港は、エチオピア、南スーダンなど近隣内陸国への東アフリカ各国の物流拠点の1つとなっており、経済統合・連携を進める東アフリカが引き続き堅調な経済成長を遂げる上で重要な機能を担っている。

さらに、同国は、ソマリアなど地域の和平プロセスにも積極的に貢献しているほか、世界貿易の大動脈であるソマリア沖・アデン湾の海賊対策等のため、各国に活動拠点を提供するなど地域の重要な安定勢力となっている。特に、我が国は、年間約2千隻の日本関係船舶が航行するジブチ沖航路の海賊対策のため、2009年よりジブチを拠点として自衛隊を派遣しており、ジブチは貿易立国である我が国にとって戦略的に重要なパートナーである。

一方で、ジブチの国土は狭小であり、自然環境も厳しく、港湾・物流等のサービス業以外に経済を牽引する産業はなく、経済社会基盤は脆弱である。また、首都ジブチ市は急速な都市化に伴い、経済社会インフラ、教育、医療等の社会サービスが不足している。また、若年層を中心に失業率も高い水準にあり、持続可能な発展の妨げとなっている。

以上の状況を踏まえ、東アフリカの物流の拠点であるとともに海賊対策を始めとする国際的課題に積極的に取り組むジブチに対し、我が国がODAを通じて支援することは、同国が抱える様々な国内的課題の解決を後押しし、その安定と発展を促進するとともに、東アフリカ地域や我が国を含む国際経済の安定的発展にも貢献することが期待されることから、意義が大きい。

## 2 援助の基本方針（大目標）：地域安定化の基盤の強化と経済社会に寄与する支援

「アフリカの角」地域の安定に貢献しているジブチの安定と持続可能な発展を後押しするために、都市化の進むジブチ市を始めとする社会基盤の強化及び発展を下支えする人材育成を支援する。

## 3 重点分野（中目標）

### （1）持続可能な発展のための経済社会基盤整備

急激な人口流入が進んだジブチ市では、環境の悪化や電力エネルギー等のインフラの不足、脆弱な防災体制といった都市化に伴う問題への対処が急務となっている。また、港湾・サービス業は今後もジブチの主要産業であり続ける見込みであり、その発展はジブチの経済成長の鍵ともなる。このため、ジブチの持続可能な発展に向け、都市部における電力や港湾等都市機能の拡充をはじめとした産業インフラ整備や生活環境整備の強化を支援する。

(2) 経済社会開発を下支えする人材の育成

教育の質の向上や保健指標の改善等を目的とした、基礎的社会サービスの向上に繋がる人材育成を行う。また、ジブチの失業率は54%と高く、特に若年層の失業率に関しては70%（いずれも2007年ジブチ政府発表による統計データ）と極めて高いことから、ジブチの雇用創出を支援するとともに、雇用に繋がる人材育成を行う。

(3) 地域の安定化努力強化

ソマリア等周辺国の不安定に起因する海賊や難民・移民、密輸・密漁等の問題に対処するため、ジブチ政府の海上保安等能力強化を行う。また、関係する国際機関とも協力しつつ、難民・移民対策等の各種支援を行う。

(了)

別紙： 事業展開計画案